

江東区議会議員

鈴木あやこ

働く世代の
ワーク・ライフ・バランスを
応援します！

2018年
11-12月号
Vol.63

鈴木あやこのプロフィール

1975年2月18日生まれ。成城大学卒業後、(株)NTTドコモ勤務。猿江、潮見の居住を経て、豊洲在住。働く若い世代を代弁する女性議員が不在、という江東区議会の構成に問題意識を持ち、在職中に早稲田大学大学院で政策を学び、2011年江東区議会議員に初当選。待機児童問題、子育て・介護など、ワーク・ライフ・バランス政策に注力。インターネットによる情報発信や、対話型の区政報告会「あやこcafé」の毎月実施など、「区政の見える化」を推進。

2015年 江東区議会議員選挙にて2期目の当選。

★所属委員会 (2018年度) 企画総務委員会委員/オリンピック・パラリンピック特別委員会 委員/会派: 江東区議会民政クラブ/所属政党: 立憲民主党

★マニフェスト大賞 副実行委員長ほか、全国の地方議員の勉強会の事務局に携わる。

★趣味:料理・まち歩き・水辺歩き



鈴木あやこの活動報告

大阪府 津波・高潮ステーション視察 (9月15日)

災害時の津波や高潮に備えた大阪府の防災啓発施設を視察。大阪市は江東区と同様、海面よりも低い「海拔ゼロメートル地帯」が多く、室戸台風やジェーン台風など風水害に悩まされてきた地域。過去の災害を教訓に水門や防潮堤の整備を行ってきた歴史や、水害対策について学びました。視察内容は早速、今回の決算審査の質問に活かしました。



豊洲水彩まつり2018 (10月6日)

豊洲の水辺の秋の風物詩「水彩まつり2018」が豊洲・東電堀にて開催。今回も豊洲商友会の皆さんと、豊洲はちみつエールやカクテルなどのドリンクの販売をお手伝いしました。キャナルバーや町内対抗ボートレース、水陸両用バスなど、様々なアクティビティで盛り上がり、夜は映画の上演会も開催。豊洲市場開場を前に、地域の方と一緒に豊洲の水辺の素晴らしさを実感しました。



毎月恒例！鈴木あやこ区政報告座談会「あやこcafé」開催案内

江東区のまちづくりについて、皆様とざっくばらんに対話する区政報告座談会「あやこcafé」最新のまちづくりの話題や議会活動のお話を中心。お気軽にお越しください！

● 第91回：平成30年11月30日（金）19:00～20:30

豊洲文化センター 第5研修室（江東区豊洲2-2-18 豊洲シビックセンター8階）



待機児童対策について

江東区の待機児童対策について、鈴木あやこはこれまで保育施設の整備や、保育士の処遇改善など様々な質問や要望を行ってまいりました。今回の決算審査では江東区の待機児童対策の評価や今後の課題について伺いました。

①

など区有地を利用した保育所整備

②待機児童数の多い0歳から2歳児の解消を図るため、0～5歳児を対象とした保育所整備を続ける、小規模保育事業にも積極的に取り組んだ。

③居宅訪問型保育事業や定期利用保育事業といったソフト型の事業にも取り組むことにより、1,000人を超える保育定員増を図った。

課題については、全体の待機児童数は減少したものの、年齢別内訳を見ると、3歳児の待機児童が多い、すなわち「3歳の壁」と呼ばれる状況が発生している。新規保育施設整備の際に、3歳児定員を多く確保する等工夫し、対応していく。

②平成29年度の実績を踏まえ、今後はどのような待機児童対策を行うのか？

【答弁】

昨年度の待機児童解消緊急対策の中での検討を踏まえ、待機児童解消に向けた取り組みとして、以下の取組を実施した。

①待機児童が多かった0歳～2歳を対象とし、保育者が各家庭に訪問して保育を行う「居宅訪問型保育事業」

②2歳を対象に認可保育園の空きスペースを活用し、最長1年間保育を提供する「定期利用保育事業」

③0歳～2歳を対象とする小規模保育所整備

今年度の待機児童では3歳が増えたこともあり、

「定期利用保育」については、来年度開設する私立保育所に対し、対象年齢を3歳での実施を検討している。

③

④